

第13回 柏市青少年承德派遣団を引率して

団長 長岡 富男

先ずは団長（青少年引率者）という大役をおおせつかり、無事事業を完遂できたことを喜んでいきます。

準公務としての中国訪問は25年ぶり、承德市も前任地（JICA、長春市・徳恵）も同じ万里長城の北部地域とは言え、中国の広さや長い歴史そして時の流れを強く感じました。

今回の派遣生数は3名（高校生2名・大学生1名）、少人数でしたが強い中国への思いを持った学生ばかりで、トラブルもなく十分とはいえないまでも現地学生やホストファミリーとの家族的交流や中国文化の一端を体感（中国料理の一つである水餃子の調理、中国切絵の製作）ができたことは素晴らしい事と思います。

只残念な事と云えば、地元主催の観光イベント準備としての大工事（全誘導路の改修）に伴い、一大世界遺産である「万里長城」に近づき派遣生に登城の体感すら経験すらできなかった事でしょう。明日がある身の若者たち、次回訪中時の楽しみにしておきましょうか・・・。（本件に関しての承德外事弁公室の格別なお骨折り〈外部折衝〉に感謝します）

承德は世界遺産に囲まれた歴史の地域と紹介されがちだが、次々と高層ビルがけんせつされる様は想定外であり発展の一途を感じざるをえなかった。また歴史建造物地域の低層住宅の瓦屋根の形式は地域環境を最大限に意識したものであった。観光都市承德とも言えよう。

今回の事業遂行に絶大なるご協力を頂いた承德外事弁公室はもとより、派遣生に寄宿舍を提供頂いたホストファミリー、同行参加の承德ホストフレンド、訪問&見学を提供頂いた2大地元学院（河北旅行職業、河北民族師範）の学生・教授陣の強い郷土愛や国際交流熱には圧倒させられると共に、中国人の国民性を強く感じさせられる一面でもあった。

また、青少年引率者としては、還暦もとつくに過ぎ、青少年達と付き合う機会がめっきり少なくなった昨今。本事業を通して久しぶりに味わった若者との交流の色々な場面場面において興味・思い・行動の時代的差異を体験できました。謝謝！！

最後に、御協力頂いた柏市関係者の皆様と共に、積極的な国際交流促進に取り組む承德市民に感謝申し上げます。

